

CEOメッセージ

65号小泉のラマンチャの男 成せば成るー4

小泉純一郎は、郵政民営化是か非かを唯一の選挙の争点にして、国民に「官か民かを問う」圧勝した。小泉純一郎は、実はミュージカルのラマンチャの男のなかの、劇中でドンキホーテが歌う名曲「見果てぬ夢」 敵は数多なれども・・・我は、勇みて行かんを座右の銘として、決意を続けた。これこそ正に「成せば成る」であるので紹介する。どんな圧力にも、屈せず「我れ信ずる」わが道を行く。この決意が、選挙圧勝の要素でありこれ以外にはない。まさに、成せばなるの極め付きである。ご参考に供すれば幸いである。

ラマンチャの男

見果てぬ夢

夢は稔りがたく
敵は数多なれども
胸に悲しみを秘めて
我は勇みて行かん

道は極め難く

腕は疲れ果つとも
遠き星をめざして
我は歩み続けん

これこそわが宿命

汚れ果てしこの世から
正しきを救うために

如何に望み薄く遥かなりとも
やがていつの日か光満ちて
永遠の眠りに就く時来たらん

たとえ傷つくとも

力ふり絞って
我は歩み続けん
あの星の許へ

成せば成るー3

小泉純一郎首相は、優勢民営化一本に絞った総選挙で大勝した。持論であった優勢民営化法案が参議院で否決されると、すかさず、総理大臣だけが持つ「解散権」という伝家の宝刀である「大太刀」を抜いて、衆議院を解散総選挙に打って出た。

橋本内閣の時代に郵政大臣をつとめた小泉は、橋本総理を激励、山一証券、北海道拓殖銀行など金融機関が連鎖的に経営危機に追い込まれているとき、橋本総理に、「総理、総理がやろうと思えば何でもできる」と激励し、橋本総理を勇気付け、橋本内閣は経済危機を乗り越えた経緯がある。次の小泉の武器は、人事権だ。一昔前の自民党は、派閥が幅を利かし、大臣病患者を順番に送り込む世界、ここには腹芸と阿吽の呼吸そして派閥親分の力だけが頼りの世界だ、藪入りのお土産、暮れの餅代、選挙の応援派閥からの資金、など全ては派閥親分の力次第の世界だった。しかし小泉は自民党のこんなところが嫌いとはばかり、「自民党をぶっ壊す」と宣言して総裁に当選、二刀流の小太刀は人事権だ、誰にも相談せず全部自分の一存できめる小泉流、小泉二刀流の真骨頂だ。宮本武蔵ばりの小太刀には誰も逆らえず、すべては思惑どおりにことは運んだ。ここで、小泉を、ここまでやらせたのは、二刀流を遣わせたのは、押し上げたのは何か。それは04年選抜高校野球で優勝した愛媛県済美高校の校歌のなかにある「やれば出来る」である。以来小泉は「やれば出来る」を魔法の言葉のように、呪文のように唱え、座右の銘とした。この強烈な精神があったればこそ、小泉選挙は対象を収めたのである。何事もやれば出来る。極めつきの「成せば成る」である。

アメリカ一極集中 不均衡の拡大生産

世界経済は、アメリカの旺盛な消費需要の一極集中で、世界経済の同時好況、不均衡の均衡好循環により、世界の需要を押し上げている。アメリカの身に余る体力は、自分の力で作った分だけでは食べていかれない。経済的にも収支は合わない。経常収支は、GDP実質成長率の6%、8千億ドルの赤字を垂れ流している。しかし世界の需要を一手に引き受けているのが旺盛な個人消費だ。アメリカはローン社会、借金漬け経済だ。背景には低金利による住宅政策がある。アメリカの住宅着工はのびており、値上がりも大きいので住宅バブルといわれているほどの加熱振りだ。アメリカ人は住宅買うと値上がりする。値上がり時価を上限としてローンすることが出来る。要するに住宅を買えば、値上がり分だけ銀行口座の残高が増える仕組みだ。極端に言えばこの増えて分が、旺盛な消費に回り世界の需要を一気に押し上げる力になっている。住宅価格が担保の、ホームエクテローンと称する住宅ローンである。従って、住宅着工数と住宅価格の値上がりと低金利がこの三つが条件になり、キーポイントとなる。ここへ来て住宅着工数の伸び率鈍化したこと、中古住宅価格が値下がりしたこと、金利が半年で5回アップし年4.5%となる。などマイナス面が次々と出て、きており先行きが心配だ。アメリカの買い控えが始まれば伸び率は鈍化し、消費に悪影響を及ぼし、買い控えとなれば景気悪化のシナリオだ。世界経済を動かしているアメリカ、それも消費者である。先行き不安で買い控えが起これば消費低迷となる恐れは充分にある。アメリカこければ世界がこける。アメリカの住宅着工、住宅価格の動向を注視せねばならない。

66号

2. 中国

年率9%台の目覚ましい発展を続けるレッドドラゴンは、過剰投資、過剰設備、過剰生産により、世界中にデフレを輸出している。特にアメリカに集中、貿易黒字の最大の相手国だ。欧米諸国、日本など主要国が投資を拡大、世界の工場としての地位を築いた。今や中国抜きでは語れぬほどの力を持つようになり世界の経済を支えている。

しかし、二つのマイナス面を持っている。一つは製品デフレだ。ものが安く出来るのは消費者にとって良いことだが、何でもかんでもの安売りが、主要国の製造業を疲弊を招き、商店街から活力を奪い、労働集約型の、中小企業や個人企業の経営意欲をなくさせていることだ。中国発のデフレが輸出されている主要国の中小製造業、商店街が犠牲になっていることだ。二つ目は世界中の資源がぶ呑みしていることだ。過剰投資、過剰設備、過剰生産のための飯の種は、原油、鉄鋼、石炭、天然ガス、木材などの資源だ。これらの資源を力任せに、買い上げて、結果的に価格を吊り上げている。この資源がブのみを主要国におおきな迷惑をかけている。他の国は、資源を吊り上げられた上に製品を安売りされてはとてもしゃあやっつかない。中国は、世界中の資源をがぶ飲みし、価格を吊り上げ資源インフレをもたらし、過剰設備稼働のために低い労働力を武器に、過剰生産した製品を世界市場に安売り攻勢かけている。しかし、この中国もアメリカ頼み、アメリカがこければ中国もこける。

67号

日本経済

景気回復がもてはやされ、好景気到来の活字が新聞に躍る新年だ。ところがこれは一部大企業の話であり、中小企業の分野にはまだまだ遠い道である。しかし街角には活気もどり一時のような、不況一色の暗い風景はなくなった。一般的には景気は間違いなく良い方向に進んで言うことは確かだ。久々に明るい夢を持つことが出来る新年だ。GDP実質成長率は全世界で4年連続4%台、日本も2%台が予想される。日本は中国経由でアメリカに主に輸出し稼いでいる。日本は輸出で稼いだお金をアメリカの長期国債などに投資し、産油国同様に資金をアメリカに還流させている。

日本国内では、株価は5年2ヶ月ぶり1万6千円台を回復、大企業は、軒並み最高益消費者物価0.1%上昇も、2年1ヶ月ぶりだ。ゼロ金利さらばとばかり、日銀では量的緩和の解除を再三にわたって表明している。こんな状況から、デフレから脱却できたのか？バブルの時代にはいっているのでは、両極端の議論が新聞紙上に躍っている。一般的に良くなったことは間違いないと信じて夢を持って進もう。

一方暗いニュースは、人口減少社会への入り口へ差し掛かったとの報道だ。05年の統計では、1万9千人減って、1億2千万人ナイジェリアに抜かれて、世界第十位に後退した。2050年には1億人を切り、9千万人となって現在の75%になるとの予測機関もあり、いよいよ人口減少社会へ一歩踏み入れたことになる。人口の減少は、働く人の減少であり、働くものが減れば、活力が減少する。活力の減少は日本の国力の減少となる。なんとしても、ならぬように今から、官民総出で知恵をしぼり減少を食い止めねば成らない。

・官から民へ

小泉純一郎首相による郵政民営化法案が可決され、伴い官から民への動きが加速される。予算は緊縮予算、国債の減額、公務員純減5%、特殊法人の整理、縮小、政府系金融機関の整理統合などが矢継ぎ早に打ち出され、大きな政府から小さな政府への転換が急速に進むと考えられる。我々にどんな影響があるのか、計り知れぬが、時代は大きく変わろうとしている。官から民への転換を、注意深く見守りなくてはならない。

・新業態の誕生 コンビニがデパートを呑み込んだ

セブン&アイグループ、通称イトーヨーカドーグループは、西武、そごうの百貨店グループを1300億買収し、新業態として、コンビニ・スーパーがデパートを傘下におさめたことになる。

全く画期的なことであり、一昔前には、想像もできなかったことである。小売の王様、百貨店の通り、いけばなんでも買えるデパート、買い物することがステータス気分であった時代もあったデパートを、コンビニ・スーパーが買い取るとは、驚いた世の中だ。

背景には、生き残りを賭けた業界の熾烈な競争だ。郊外には安売り専門店の台頭、靴の安売り、家電の安売りヤマダデンキなどが、安売り大攻勢をかけてくる。ダイエーは、食品に特化し、イオンは、他グループとの提携をもくろむ。こんなはげしい流通戦争での勝機はなにか？つい最近までの連戦連勝流通の王様であったヨーカドーグループの伸び率は鈍化し、このままでは の危機感から、今回の買収に踏み切った。世の中何が起こるか皆目見当がつかぬご時世、アンテナを高く、常に情報収集を怠らないようしなくてはならない。

耐震元年

昨年末発覚した耐震偽装設計問題は国土交通省を巻き込んで建設業界を日本国じゅうを揺るがす大事件となった。国土交通省は、業界への嚴重注意は勿論のこと、入居者にも一定の補助をすることを発表、警察庁は、偽装設計関係者が詐欺など刑事告発にあたるとして捜査を開始した。国土交通省は、施策の最重点項目に、この偽装設計問題を取りあげ、予算計上を、05年30億、06年130億、耐震化住宅を03年75%から、10年には90%引き上げる方針だ。

①耐震元年

現在の全住宅総戸数4700万戸、うち25%の1150万戸は不適格住宅とされている。

住宅 全壊率 木造 震度6 81年 新基準前 70% 81年以降 10%
非木造 震度7 81年 新基準前 40% 81年以降 10%

公立小学校 総数 60万 60%耐震性不十分

住宅や、公立小学校などは以上の通り耐震性がない

国土交通省の方針は、2005年～2015年の10年間に650万戸の耐震工事を行うとし、建替えは550万戸、耐震改修100万戸だ。このとうりならば、約5%の仕事が、これだけでも増えることになる。

②住宅基本法改正 量から質への転換

本物の家 の出番 鉄筋はダメ・木造へ・それも本物の木造

昭和41年「住宅建設計画法」絶対数の不足、住宅金融公庫の融資奨励、質より量の充実
交通省の諮問機関 社会資本整備審議会、時代は少子高齢化、環境問題とした。

なかでも、最重要項目は、本物の家 に住みたい居住者のニーズの高まりに対応して」

快適で健康によく安心で、豊かさを実感できる家、そして地震がきてもびくともしない
耐震化の促進、一度建てたら100年以上はもつ高耐久性能を持つ家、住み替え自由な、
資産価値安心できる中古住宅市場

本物の家、本物の材料を使う本物の家、木造住宅の出番

本物の木造住宅、我々材木屋の出番、本物も材木屋の出番が来たことを基本姿勢として
臨まねばならぬ。

6月20日

木造軸組工法住宅の改正建築基準法における建築確認申請対応について
財) 日本住宅・木材技術センターより

1. 申請の内容の訂正 不適合部分の修正 再申請せねばならない
2. 必要書類

① 設計図書

図書-1 特例対象 4号建築物 都市計画区域内 建築し設計

図書-2 対象外 1+2必要

②構造計算

構造計算A

高さ13M以下かつ軒高9M以下3階建て2階建てもしくは以下の面積が500m²を超えるもの 構造計算A書(許容応力度計算 ルート 1)

構造計算B

高さ13Mを超え、または軒高9Mを超えるもの (構造計算適合性判定必要) 許容応力度計算 ルート 2

構造計算C

限界体力計算により安全性を確かめた建築物 (構造計算適合性判定必要) 許容応力度計算 ルート)

70号 アパホテル

人気のあるアパホテル、私が社長です、の顔写真を派手に掲げて、急成長会社アパホテル社長元谷芙美子氏の話聞いた。彼女は夫元谷外志雄が代表を務めるアパグループの役員でありホテル部門の社長である。アパグループはもともと注文住宅専門の建設業者だ。現在は都市開発、不動産、ホテル、金融、出版など手広く経営しているだ。

APAの社名は**A l w a y s P l e a s a n t A m e n i t y**最初にJを付ければJ A P Nになり常に日本（J A P A N）の中心にいる（A P A）と言う意味も込められているいつも気持ちの良い環境をという意味だ

・ ホテル創業 1994年 全国一万室 2003年達成、08年までに2万室目指す。最近幕張プリンスホテルを購入、アパブランド力がアップした。

信条

①一流の雰囲気作り②料金より多くのお返し③笑顔日本一の心配り、④食事を美味しく

三つのB ①ベッド②バス大浴場③朝飯が勝負、最終印象を良く

四つのS ①スマイル②スピード③センシャアリテー本物 誠意 誠実④ステータス有名

・ 営業 パンプを靴に、創立3年間は、毎朝企業の朝礼を一日2回周り、女性の強みを生かし売り込んだ、ウェルカムではないが効果があった。

・ 売上78億利益14億・ホテル事業は、回収最低期間10年、償却資産でホテルを生む

・ 企業と人 環境と効率の困難な両立 エコ提案装置 東京ドーム150個分節約できる。

・ 結び

・ 人間環境論 企業と人間が一体 倫理の確立 気持ちよく働く場の提供する

・ 朝飯には心配り 目玉焼き、サニーサイドアップ、ターンオーバー 太陽の一つは一つはお客さまに、自分をお客様の中に 以上

急成長の秘密は、熱心さ、前向きな姿勢、笑顔対応日本一、清潔、癒し、満足感、朝飯の対応など平凡なことを実行したことがポイントではないか、問題は、実行力ではないか。

7 1 号 救助救急訓練

去る 1 月 31 日第七消防方面本部救急演習が東京メトロ新木場操車場で行われた。訓練の総司令官、地元城東消防署武内署長の指揮のもと、約一時間の訓練が行われた。訓練は走行中の地下鉄 11 両編成の列車が（ほぼ定員の約 300 人の乗車率）走行中、火災発生 of 想定で行われた。車内には煙が充満、外部には複数のカラー発煙で派手にロケーション、車窓から煙が立ち昇り乗客が窓をあけ救援をもとめている。大ボリュームのスピーカーからは、本部の命令が響く、空中にはヘリが爆音を轟かせ、地上では各消防車、救急車がサイレンを鳴り響かせた走り回る訓練の現場は正に火事場そのものの雰囲気だ。パンダグラフが下ろされ電源カット、停車した。車内から、乗客が次々飛び降り、救急隊がタンカで次々と救護テントへ運ぶ、救護者は症状別のトリアタッグと呼ばれる認識票によって症状に応じ別々のテントに運ばれる。この救護テントは、空気を入れと膨らむ圧縮現場テントだ。中央には第七消防方面本部が設けられ幟旗が立ち本部が設置される。この本部が訓練の中樞本部である。ここで指揮をとるのは、地元城東消防署の武内署長だ。消防服に身を固め、普段は、学者のような印象からはからは想像もつかない、りりしい、頼もしい姿を拝見した。戦場の武将が戦陣を築き、全体を睥睨しながら、勝利に向かって、あらん限りの知恵と力を使って、全軍を指揮する姿が脳裏に浮かび、感激した次第です。

特に、この訓練は第七方面五消防署城東、江戸川、葛飾、本所の五部隊、化学消防隊、レンジャー部隊、救急隊、地元消防団、救助の医師団、ヘリ消防隊が大雑把に言ってこれだけの消防隊が集まり救助活動、延べ 1000 人の人数で展開される訓練は、絵に書いた戦場絵巻のようで実に見事で御座いました。実践でこれだけの活動を続けるために、厳しい訓練を必要とするものと思いました。我々が安心して生活できるのは、消防関係の方々の活動のお蔭様と改めて感謝申し上げます。

訓練は正味 1 時間で終了しました。終了後七方面本部長の総評では、「訓練は実践のごとく実践は訓練のごとく」と言はれた言葉が印象に残った。